

# かしま

# ほっと HOT 通信

6月号 Vol.341

令和3年(2021年)6月1日発行

■編集/かしま病院広報企画室  
 ■発行/社団法人 養生会  
 〒971-8143  
 福島県いわき市鹿島町下蔵持字中沢目22-1  
 tel.0246-58-8010(代) fax.0246-58-8088

ホームページ <http://www.kashima.jp>

かしま病院

検索



スマートフォンをご利用の方は、QRコードを読み取り、アクセスしてください。PCサイトと同じ内容がご覧頂けます。



ご意見・ご感想は...

上記住所へ郵便、またはE-mailでお送り下さい。  
 かしま病院広報企画室(江坂 宛) まで  
[r-esaka@kashima.jp](mailto:r-esaka@kashima.jp)

- 1 2 巻頭特集  
『かしま病院  
リハビリテーション部のご紹介』
- 3 家庭医療セミナーinいわき  
-実践 家庭医塾 online- のご紹介
- 3 コラム ひんがら目(168)  
『世界の男女平等ランキングについて』  
呼吸器科 部長 山根 喜男
- 4 ようこそ家庭医療へ!  
リハビリPOST  
5月の病院給食  
かしま荘通信

NEW Pamphlet

## 病院パンフレットが新しくなりました!!



今年4月、病院パンフレットを更新しました。全8ページ構成で、従来よりも内容がシンプルになりました。表紙はいわき市がモチーフになっています。名所や観光地など、いろいろなものが隠れていますのでじっくり探してみてください。

ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。

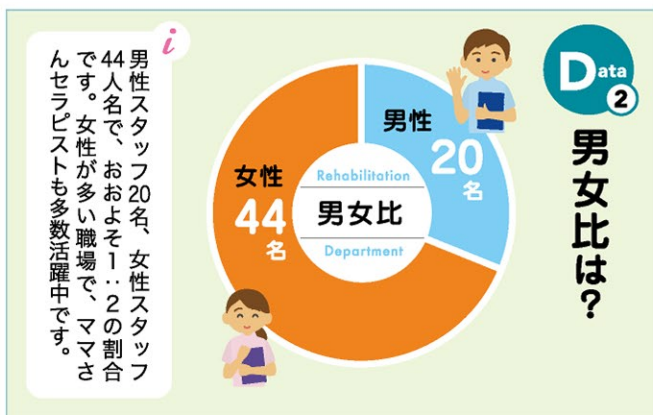
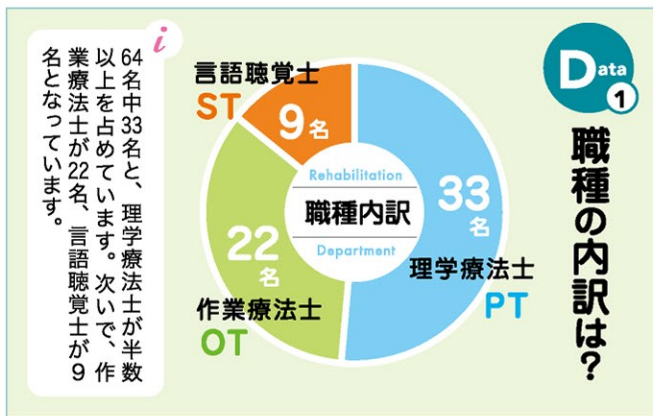


## 巻頭特集



かしま病院

# リハビリテーション部のご紹介



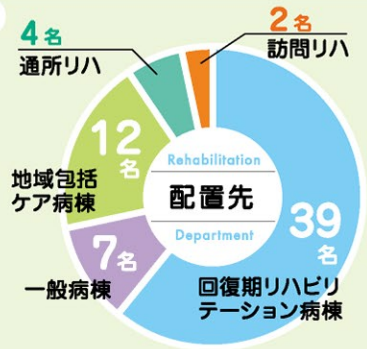
**当** 院は、「地域から寝たきり老人をなくそう」を合言葉に、名誉理事長の中山元二先生を中心に開業医の先生方の協力を得て昭和58年に設立され、今年の4月で38周年を迎えました。

当初からリハビリテーション部門を大きな柱に据えており、昭和60年にはリハビリテーション棟竣工、平成14年には福島県よりいわき地区の「地域リハビリテーション広域支援センター」として指定され、平成15年には浜通りで初めて回復期リハビリテーション病棟を開設しました。

病院設立当初は10名に満たない体制でのスタートでしたが、令和3年度は4月に5名の新人職員を迎え合計64名の大所帯となりました。

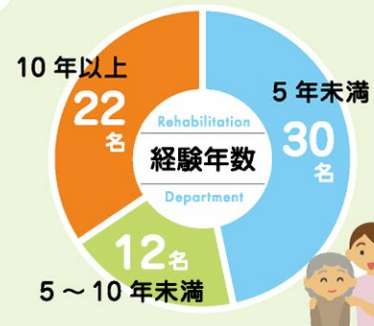
今回は、リハビリテーション部を様々な角度から紹介したいと思えます。

### Data 4 スタッフの配置先は？



各病棟や施設に配置されています。その中で回復期リハビリテーション病棟が最も多く、PT19名、OT13名、ST7名の計39名が配置されています。

### Data 3 経験年数は？

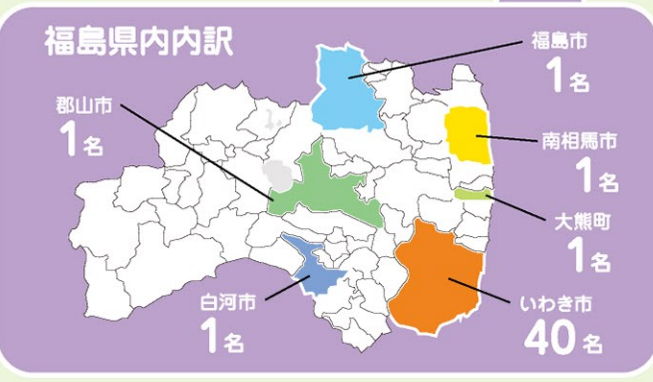
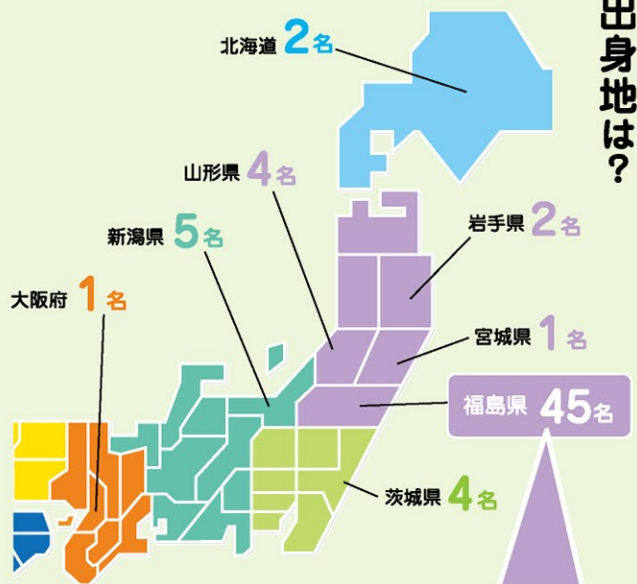


5年未満が30名と、若いスタッフが多い部署です。10年以上のベテランは22名おり、若いスタッフの育成もしっかり行います。



### Data 6 出身地は？

県内出身者が45名（うち、いわきが40名）と最も多いです。なんと、北は北海道、西は大阪と遠方の出身者も若干名おりました。



### Data 5 出身校は？

出身校は多岐にわたります。福島県と宮城県、茨城県、栃木県、新潟県、山形県、群馬県の隣県（6県）で50人でした。

- 国際医療福祉大学 7名
- 東北文化学園大学 6名
- 郡山健康科学専門学校 5名
- 仙台青葉短期大学 4名
- 国際医療看護福祉大学校 4名
- つくば国際大学 3名
- 晴陵リハビリテーション学院 3名
- 新潟医療福祉大学 3名
- 茨城県立医療大学 3名
- 水戸メディカルカレッジ 3名
- 山形医療技術専門学校 3名
- 岩手リハビリテーション学院 2名
- 仙台医健専門学校 2名
- 千葉柏リハビリテーション学院 2名
- 群馬医療福祉大学 2名
- 神奈川県立保健福祉大学 1名
- 帝京平成大学 1名
- 了徳寺大学 1名
- 仙台保健福祉専門学校 1名
- 専門学校東京医療学院 1名
- 国立療養所東京病院付属リハビリテーション学院 1名
- 杏林大学 1名
- 目白大学 1名
- 埼玉県立大学 1名
- 八千代リハビリテーション学院 1名
- 東京YMCA医療福祉専門学校 1名
- 仙台医療センター付属リハビリテーション学院 1名

※スタッフが在籍していた当時と学校名が変わっている学校もあります。

### Interview



リハビリテーション部  
理学療法士  
主任  
高木 悠平

私が理学療法士の仕事に就いたのは、学生の頃に部活で怪我をして苦しんだこと、小さい頃から祖父母に預けられていた事が多かったこともあり高齢者の役に立ちたいと思ったことがきっかけでした。

今は一般病棟に配属され、入院患者さんを中心にリハビリを担当しています。体の状態がどの程度まで改善するかは患者さんによって異なりますが、チームとして患者さんに関わってリハビリを行い、退院時に笑顔でお帰りいただく姿を見るととてもやりがいを感じます。

理学療法士になって今年で9年目を迎え、気づけば自分より若いスタッフが多くなってきました。これからも、先輩スタッフが築き上げた信頼を大事にしていきたいなと思います。その結果、「かしま病院っていいな」と患者さんや地域の方に思ってもらえたら嬉しく思います。

### 今

回は、リハビリテーション部の「業務」ではなく、「人」にスポットをあてて紹介しました。若いスタッフが多いことが特徴の一つですが、男女問わず子育てと仕事を両立しているスタッフも多く、幅広い世代が活躍しています。リハビリテーション部のチームワークが良いのはその影響もあるのだと思います。

将来は高齢化社会が更に進み、リハビリテーションが必要とされる機会が増えると思います。これからは、「リハビリ」と言えば「かしま病院」と言われるよう努力していきますので、どうぞよろしくお願いたします。



# 家庭医療セミナーinいわき

## — 実践 家庭医塾 online — のご紹介



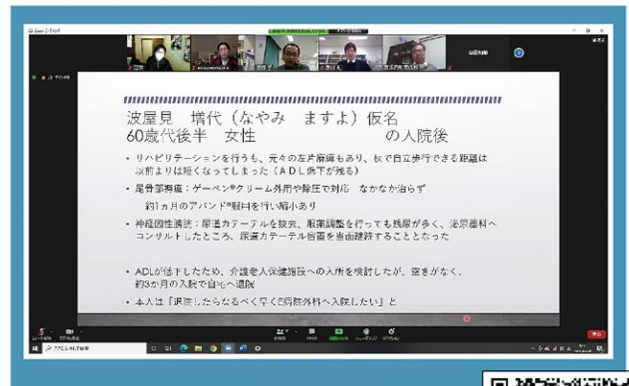
**福** 島県立医科大学の地域家庭医療学講座の一環として開催している「家庭医療セミナーinいわき -実践 家庭医塾-」をご紹介します。

福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療学講座 主任教授の葛西龍樹先生を座長として毎月1回開催しており、今月6月で120回目の開催を迎えます。当講座は事例発表、グループディスカッション、講評という流れで進行しており、地域の医療職が集まり、学びを深める場として長年続いています。

当院コミュニティホールを会場として開催していましたが、新型コロナウイルスの感染が拡大してからは、感染対策のため中止になることが多くなりました。そこで、令和3年2月より、オンライン会議システムZOOMを使用したオンライン開催となりました。画面共有をして事例発表、ブレイクアウトルームに分かれてグループディスカッション、最後に全体の講評という流れで、会場での開催と比較しても遜色なく進んでいます。

オンライン開催となったため、全国どこからでも参加可能です。また、新型コロナウイルスの感染状況に

応じて、オンライン参加と会場参加を組み合わせたハイブリッド形式で開催しており、参加方法の選択肢が広がっています。興味のある方は、**かしま病院地域連携課 (TEL 0246-76-0350)** までお問い合わせください。



ブログで更に詳しく...

セミナーの様子は  
ブログにまとめています。



### 世界の男女平等ランキングについて

病院という女性の多い職場にいる身としては男女差別をあまり感じていないので、日本のジェンダー不平等がいまいちピンと来ませんでした。

世界経済フォーラムが男女格差を測るために発表したジェンダー・ギャップ指数でみると、ジェンダー平等に関して、日本は世界153カ国の中で121位であり非常に遅れているそうです。

これは、経済参画、政治参画、教育の到達度、健康と生存率の4つの分野の14項目で男女の格差を計算し、それらを平均化したものです。

男に対する女の比率が、経済参画で0.6、政治参画で0.05、教育で0.98、健康で0.98でした。教育と健康では殆んど男女差はありませんが、政治参画で著しく低値でした。閣僚数では139位、国会議員数では135位でした。国会議員数を増やし、女性閣僚を増やせば見かけ上は男女差が改善します。しかし、注目すべき事は、基本的権利である選挙権や被選挙権には男女差がないことです。女性が必ずしも女性に投票してない可能性があります。

国会議員や閣僚になることに価値を見出すのか、そんな義務は政治家に任せて自分はその生き方をしたいのか、は個人の価値観です。小学校のPTAの役員などはなり手が少なく構造的に引き受けている人が多いようで、数の上では女性が男性を凌駕しているようですが、これを男性差別だと捉えている人は少ないでしょう。

経済参画に関しては、賃金格差で67位、労働力参加で79位、所得格差で108位です。



た。指数を出しているのが世界経済フォーラムだけあって、高賃金、高い役職につくことが価値のあることだと考えての男女格差だと言えますが、家庭生活や子供の教育などに高い価値を置く人はどう考えるでしょうか。重い責任を持たされるよりは、ほどほどの社会参加で十分だと考える人もいます。

生物としてのヒトは男女一対が基本です。事情があってそうでないヒトの存在も尊重されなくてはなりません。人間の継続のためには基本形を忘れてはなりません。

弱肉強食、権力欲、金銭欲を是とする経済界が作ったジェンダー指数が真の男女平等を意味しているとは思えません。女は子供を生む道具だと言われれば腹が立ちますが、子供を生む能力は女の権利だと考えると、母性に羨望を覚えます。

女性の中にもいろいろな考え方があるものです。女性の中で、力を持った女性が社会進出をしようと、自分こそ女性の代表のように主張されますが、いささか違和感を覚えます。森喜朗氏の後任である橋本聖子氏、そして橋本氏の後任の丸川珠代氏、いずれも女性ですが、女性だから選ばれたとしたら、そもそも男女平等から外れます。

男性が何名か、女性が何名かで比較するのはなく、適切な人が選ばればよいわけです。女性の数が少ないから女性候補者を優先するとか、女性は相応しくないから男性候補者を優先するとかの考え方がジェンダー平等に反するといつてもいいです。

経済参画に関しては、賃金格差で67位、労働力参加で79位、所得格差で108位です。

呼吸器科 部長 山根喜男



# ようこそ 家庭医療へ!

～ いわきに生きる家庭医育成への挑戦 ～



5月19日は世界家庭医の日です。この家庭医の日は、世界中の医療システムにおける家庭医とプライマリ・ケアチームの役割と貢献にハイライトをあてる日として、世界家庭医機構が2010年に制定しました。「なぜ5月

19日なのか？」それは私に質問してはいけません。なぜなら、私が調べた限り理由は不明だったからです(笑)。正解が分かった方はコッソリ教えてください(笑)。

この日が制定された経緯や日付の由来もよくわからない私言うのもなんですが、普段とても地味で地道に、あたりまえで身近な医療を、身近な皆さんに、包括的かつ継続的に提供している家庭医が、年に一度ぐらい主役として注目される日があってもいいな～って思います。

2021年の世界家庭医の日のテーマは「家庭医と未来を構築しましょう!」です。そして、より良い未来に向けて課題を克服するための要員として、4つのパートナーが示されています。

1つめは「プライマリ・ケアチーム」です。言うまでもなく、多職種連携はより良いケアの要です。

## 第136回 世界家庭医の日

診療部 石井 敦



2つめは「患者さん」です。医療の利用者である患者さんが、医療の提供者側に全部お任せすることなく、主体的にケアに参加することは、質の高い患者中心の医療を実現するための源です。

3つめは「最新の技術」です。患者さんが最新の技術や知見による恩恵を適切に享受できるように常に自身の医学知識をアップデートし続け、適切な医療連携を提供することは、家庭医に課せられた重要な使命です。

そして、最後の4つめは「あなた」です。家庭医は「あなたの専門医」です。あなたの脳でもなく、心臓でもなく、胃腸でもなく、あなたとあなたを取り巻くすべての環境や状況、あなたの大切な人たちやペットや物、すべてをひっくるめて、いまのあなただけでなく、昔のあなたも、これからのあなたも、あなたのお子さんも、お孫さんも、ずっとずっとケアし続けていきたいと考えています。

いまのところ、家庭医の日を知る人は相当のマニアだけかもしれませんが「打倒 父の日!」ぐらいの気概で頑張っていきたいと思います(笑)。

かしま病院では、2008年度から家庭医を志す研修医や地域医療実習を行う医学生を受け入れています。このコラムを担当する医師の石井敦は日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医として、研修医・医学生の指導を行っています。



### 認知症について (理学療法士編)

**新** 型コロナウイルス感染症(COVID-19)は私たちの生活様式を大きく変えています。例えば、外出自粛や施設における面会制限等の感染予防対策のための取り組みにより、身体機能の低下や「コロナうつ」といった精神面の不調を訴える方もいるようです。中

でも認知症の方に関しては、日々のいつもの生活や他の人との交流がなくなった結果、認知症の進行が顕在化したケースもあるようです。このコロナ禍において、如何にして認知症を予防していけば良いのでしょうか。今回から、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の3職種がそれぞれの専門性を生かした認知症の予防策などを紹介していきます。

認知症の進行を予防するポイントとして「脳の活性化」があります。脳を活性化するためには頭を使って何かを考えるだけでなく、運動をしたり、バランスの良い食事を摂ったりすることが大切です。運動に関しては、「頭を使いながら」「無理なく」行うことがポイントです。例えば、

- ① 足踏みをしながら回数を数えて3の倍数の時に拍手をする
- ② 二人以上でしりとりをしながら足を繰り返し前にステップする
- ③ 腕を振りながら100から3を引いていく などになります。激しい運動は必要ありませんので習慣化して行えるような内容にしましょう。

今回紹介した3つの運動は「コグニサイズ」という認知症予防法です。新型コロナで外出自粛が続く中、運動不足解消のためにぜひやってみてください。

理学療法士 長岡 哉



## かしま荘通信

こどもの日 - カブト作り -

5/5(水)



5月5日、子供の日に入居者様と職員と一緒にカブト作成しました。入居者様も真剣に作る様子も見られており楽しい時間を過ごされておりました。

完成した作品で写真を撮り、入居者様からも笑顔が見られておりました。



## 5月の病院給食

母の日の行事食



5月9日の母の日の行事食の献立は、赤飯、あんこの唐揚げ、鶏つくねのポトフ、アボカドとトマトのマリネ、メロンでした。食種や調理形態に応じて、食べやすさ等を調整しての提供です。

お粥食の患者様から「お粥のお赤飯初めて食べました。お心遣いに感謝いたします。ご馳走様でした。」とのメッセージカードを頂きました。今後も患者様に喜ばれる給食の提供に努めていきます。